

# 大高同窓会報

## 発行

千葉県立大多喜高等学校同窓会

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481

〒298-0216 TEL 0470-82-2621

学 校HP <https://cms2.chiba-c.ed.jp/otaki-h/>

同窓会HP <https://dousoukai.site/otaki-h/>

E-mail [otaki-h@chiba-c.ed.jp](mailto:otaki-h@chiba-c.ed.jp)

印刷 (株) サラト

姫路市北条宮の町172番地

TEL 079-284-1380



## 会長挨拶 “雑感”

同窓会長 猿田 寿男 (昭42高)

同窓会会員の皆様方にはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

まばゆい夏も過ぎ爽やかな秋を迎えるところです。一昨年以來続いております新型コロナウイルスは未だ影をひそめる様子はなく、ワクチン接種が徐々に普及しつつあるとはいえ、その姿を変容(変異)させ我々人類を悩ませております。社会には未だ閉塞感が漂っている感があります。早くワクチンが国民に普及することにより集団免疫を獲得し、現在制限されている我々の自由行動が再開され、経済の活性化や文化・スポーツの振興などが再び花を咲かせるよう期待するところです。

コロナ後の社会を想像しますとこれまでとは少し異なる様相の社会の顔つきを現すのではないかと考えております。

また、先般7月から9月にかけて東京オリンピック・パラリンピックが57年振りに開催されました。本来ならば多くの観客また海外からの大勢の皆さん方の参加による大歓声のもと競技会が開催されれば素晴らしいのですが、今回の大会は「異形の祭典」となり無観客の寂しい大会となりました。今回の大会のキャッチフレーズは当初「復興五輪」と言われておりましたが、その後「コロナ制圧五輪」、そして「多様性と調和の五輪」と変遷するなどバタバタ五輪のように感じる向きもありました。しかし選手の皆さんは日頃の実力を十分発揮され、我々に夢と感動と勇気とそしてコロナを吹き飛ばしてくれるこれからの明るい社会の期待感を与えてくれました。

私などは出来れば更にもう1年オリパラを延期していたならばもっと素晴らしい大会となっていたらと思うものです。

今回のコロナ騒動で感じるのは、ワクチン開発や治療薬など日本の医療水準が世界の中でいかに低い水準であったのかと愕然といたしました。今後、国策で医療を始めとする科学分野にもっと投資すべきと思います。

さて昨年、大多喜高校は創立120周年の節目を迎え、去る11月4日に同校体育館にて記念式典と講演会が開催さ

れました。

式典はコロナの影響もあることから規模を縮小し在校生を中心にご来賓の参加のもと、川崎校長先生の式辞、実行委員長である私からの祝辞、また本校の振興発展にこれまでご貢献された方々への感謝状贈呈など厳かな雰囲気の下で挙行されました。その後の記念講演会においては、日本を代表するロボット開発の権威であります千葉工業大学未来ロボット技術研究センター長の古田貴之先生から貴重なお話をいただきました。先生は、これからの日本の未来社会における新たなロボット技術、産業の創造を目指して企業とも連携を図り、新産業の発展を図る必要がある。

具体的には人型ロボットを開発し福祉に貢献したり自動車技術とロボット技術を融合させるなどして生活、産業面での活用を図るなど人と環境にやさしいロボットの開発を目指しているとの話でした。

また先生は実際のロボットを学校に持参していただき、生徒の皆さんがロボットにじかに触れ、それを操作・動かすなど貴重な体験をさせていただきました。私はこれからの人口減少時代の日本にとって働き手の労働力不足の解消や介護分野などにおいてもロボットの活用がもっと図られ、更にあらゆる先端産業分野においてロボットが力を発揮する時代が来ると確信します。生徒の皆さんは、今回の講演会の成果を将来の自分の進路に活かせば良いと感じました。

終わりに在校生の皆さんは現在も新型コロナウイルスにより何かと制約を受けていると思いますが、引き続き120年の歴史と伝統に輝く「大高生」として勉学と品格ある生活態度で努力して欲しいと思います。

また、同窓の皆様方にもお願いしますが、この素晴らしい「大高」は変わらず進化を遂げておりますので皆で母校を応援しましょう。

結びに今年就任されました中間芳秀校長先生を始め、諸先生方の教育に対する情熱に敬意と感謝申し上げますとともに、母校の一層の発展並びに同窓会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念し挨拶いたします。



## 令和3年度同窓会報

校長 中間 芳秀 (昭57高)

日頃より同窓会会員の皆様方には、母校の発展と生徒の育成に多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

致します。

私は、本年4月に着任しました。これまで、船橋地区、内房地区を中心に保健体育科教諭、管理職として勤

務し、40年ぶりに母校の校長として薬医門をくぐりました。重責を感じながらも、母校発展のため微力ではありますが、尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

昨年度は、猿田寿男同窓会長様（昭41年度卒）、飯島勝美後援会長様（昭37年度卒）をはじめ皆様方の御協力のもと、11月4日（水）本校体育館において、創立120周年記念式典を盛大に挙行できましたことについて、あらためて感謝申し上げます。記念講演では、千葉工業大学理事長 瀬戸熊修様（昭37年度卒）の計らいで、日本の最先端技術を誇る、同校の未来ロボット研究センター所長の古田貴之先生の講演を拝聴するという、職員ならびに現役生徒にとって、またとない貴重な機会となりました。

さて、コロナ禍2年目を迎えています。生徒たちは、落ち着いた学校生活を送っています。明るく、元気に登校し、授業、部活動、学校行事に積極的に取り組んでいます。仲間同士のつながりや、自分自身で考え行動することを、これまで以上に求められる状況下、学校行事では、他を敬い協力してことにあたり、部活動の大会では、最後まであきらめず可能性のある限り戦う姿に、大高生の魅力を感じています。

これからの学校教育では、社会の変化に対応していくために必要な力として、従来までの「知識・理解」に加

え、「思考力・判断力・表現力」や「主体的に学習に取り組む力」の育成が重要であるとされています。そこで、授業や特別活動、学校行事を通じて、「自分で課題を見つけ、自分で予想し、仮説を立て、自分なりの結論を導き出す」力を、本校の生徒にも身につけてほしいと考えています。この力を身につけるための取り組みの1つが、地域との協働カリキュラム「大高探究」です。これは、「総合的な探究の時間」の授業の中で行う、地域の課題をテーマとした探究活動であり、生徒一人ひとりが主体的に取り組む授業です。本年6月には、「大多喜高校魅力化コンソーシアム」を設置し、探究的な学習の充実を更に推進しています。地域とのかかわりを深め、異なる世代の方々とも協働することで、広い視野から課題解決に向けた新たな力を育てていくとともに、この「大高探究」が、地域創生に向けた意識醸成、人材育成、ものづくり等にも発展していくことを願い、今後も地域と連携していきたいと考えています。

120年を超える歴史と伝統に輝く「大高生」としての、自覚と誇りを持ち、伝統を受け継ぎ、新たな創造を目指し、「夷隅は遠く世界を目指す」の気概を持ち、優しさと強さを兼ね備えた人材を育ててまいります。

おわりに、同窓生の皆様には、今後とも本校生徒のため変わらぬ御支援、御協力を賜りますよう、併せて皆様方の益々の御発展を祈念申し上げ、挨拶いたします。



## 大多喜高校魅力化コンソーシアム設置

～大多喜高校の【大高探究】の取り組み～

本校では、大多喜町の課題等について理解を深め、地域貢献への意識を高めることを目的に総合的な探究の時間において、探究活動【大高探究】に取り組んでおります。更に発展させるため、今年度より地域との協働活動に関わる団体等による大多喜高校魅力化コンソーシアムを設置することとなり、第1回大多喜高校魅力化コンソーシアム代表者会議を行いました。

会議構成員は大多喜町議会議員、大多喜町副町長、大多喜町教育長、大多喜町立西小学校、大多喜小学校、大多喜中学校、三育学院大学、植草学園大学、大多喜病院、いすみ鉄道株式会社、千葉銀行、大多喜ガス、企業連絡協議会、大多喜町商工会、大多喜町観光協会、千葉県立中央博物館・大多喜城分館そして大多喜高校です。

構成員の中には大多喜高校の卒業生もおり、本校教育活動に協力していただいております。



「出前授業」

令和元年度の【大高探究】から協力いただいています。今年度は大多喜町から8講座、いすみ鉄道、大多喜城、大多喜ガス、千葉銀行、三育学院大学、グランブーケ大多喜、ちば里山バイオマス協議会、大多喜小学校校長田中憲生先生にもお話をいただきました。1・2学年の生徒対象ですが、3年生の生徒も1年次に行いましたので、全校生徒対象に行うことができました。



「探究活動に関する講演会」

これも令和元年度の【大高探究】から行っています。今年度は6月「探究活動とは」元市立千葉高校校長遠藤明男先生、7月「探究活動に必要なこと」中央大学職員梅澤貴典先生に講演をいただき、9月には「プレゼン・自己表現に関する講演」千葉大学国際教養学部助教ガイタニディス・ヤニス先生にZoom利用の講演会を予定しています。



以下は事業計画です。このほかにも様々な取り組みに協力をしていただいています。

令和3年度 大多喜高校魅力化コンソーシアム事業計画

年間計画【大高探究】

令和3年	
5月10日(月)	探究活動に関する講演(元市立千葉高等学校校長遠藤明男先生)
6月3日(木)	1学年ミニポスター発表会、第1回コンソーシアム会議
6月17日(木)	出前授業
7月16日(金)	探究活動に関する講演(中央大学職員梅澤貴典先生)
7・8月夏休み	探究活動フィールドワーク協力
9月9日(木)	探究活動に関する講演(千葉大学国際教養学部助教ガイタニディス・ヤニス先生)
9月16日(木)	2学年成果発表会
11月13日(土)	1学年成果中間発表会、第2回コンソーシアム会議
令和4年	
1月27日(木)	1学年成果発表会、第3回コンソーシアム会議



# 支部・OB会だより

## ▶▶ 大多喜支部

大多喜高校同窓会大多喜支部では、昨年からのコロナウイルス感染症の関係から支部総会は2年続けて開催せず、令和3年5月7日の支部役員会にて事業報告や決算報告等を行い、令和3年度からの新支部役員や事業計画及び予算を協議して承認頂き、例年総会に参加頂いている方を中心に役員会の概要報告をさせて頂きました。

令和3年度よりの役員改選では支部長に花崎喜好(昭和47年卒)、副支部長に渡邊八寿雄(昭和50年卒)、加曾利英男(昭和50年卒)がそれぞれ選任されました。

令和3年度の事業計画では、生徒が多く利用するいすみ鉄道沿線の草刈作業ボランティアへの参加、平成16年度から先輩方のご努力で継続されている親睦ゴルフ大会の開催、大多喜高校の卒業式時の環境美化事業を計画させて頂きました。

なお、支部主催の親睦ゴルフ大会は令和3年10月27日(水)にPGM大多喜カントリークラブにて開催が決定しておりますので、同窓生の参加を是非ともお待ち申し上げておりますので、参加ご希望の方は支部役員迄お申し出ください。

コロナウイルスの終息も見えてこない現状ですが、母校の支援と同窓生相互の親睦を更に深めてまいりたいと考えておりますので、皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

大多喜支部長 花崎 喜好

## ▶▶ 女子高支部

女子高支部では5月23日に総会を予定していましたが、今年度も書面開催としました。活動が制限され、心配は尽きません。

この先の予定も未定ではありますが、平常の生活に戻れることを願いつつ支部として協力してゆきたいと思っています。

## ▶▶ 大原支部からのお知らせ

大原支部では、7月13日の役員会で例年10月に開催していた支部総会を本年度は、来年2月に延期することを決定しました。

## ▶▶ 御宿支部活動報告について

令和元年暮れに有志4人で発足し現在5名です。以前から町に支部はあったようですが、それまで存在を

知りませんでした。まだ、現役の方もおられますがOBとして何か役立つことがあればと令和2年の夏には砂浜のごみ拾いを4回実施しました。まだ町に新型コロナウイルスの感染者がいない時でしたので緊張感はありませんでしたが、今年はコロナ禍の中で集まってしまう親会もままならぬ時世です。今夏は海開きするようですが作曲家の加藤まさを先生が童謡「月の砂漠」の発想を得たと伝えられる砂浜のごみ拾いを今年も実施したいと思っています。

令和3年7月8日  
御宿支部 渡邊一義

## ▶▶ 岬支部

岬支部では例年10月中旬に総会を予定していましたが、今年度も書面開催となりそうです。活動が制限され、心配は尽きません。

支部の活動についてあまりできていない現状ではありますが、この機会を利用して新しい人達にも(特に若手の皆さん)積極的に活動に参加して、地域の活性化につとめていただければとおもいます。

## ▶▶ 経友会報告

令和3年6月24日、万木城カントリークラブを会場に、第75回経友会ゴルフコンペを開催しました。当日は、晴れ時々曇り爽やかな風が吹く、梅雨時には最高のコンディションでした。老若相集った16名の参加者は、プレーを楽しみ、同窓会のゴルフにふさわしいものとなりました。

昭和29年度卒業の3名の先輩方は、今年85歳になられますが、皆さんお元気ではつらつとプレーしていたのが印象的でした。

経友会は、当初、郷里を離れた同窓生が、母校への支援と会員相互の親睦を目的に発足しました。

現在は、主として年2回(春・秋開催)のゴルフコンペを実施しております。コンペは、開催毎に母校近くのゴルフ場を会場に行われております。同窓生であればどなたでも参加を歓迎いたします。

### 経友会役員

- 会長 引田紘一 (S33年度卒)
- 幹事 秋田幸一 (S46年度卒)
- ☎090-3217-9493
- 幹事 太田雅彦 (S58年度卒)
- ☎090-8872-1912

令和元年度 同窓会決算書

千葉県立大多喜高等学校同窓会

【一般会計】

収入総額 4,146,207 円  
 支出総額 1,717,985 円  
 差引残額 2,428,222 円 (次年度へ繰越)

収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減額	説明
繰越金	2,345,704	2,345,704	0	前年度繰越金
入会金	805,000	795,000	△ 10,000	5,000円×159名
賛助金	1,200,000	959,488	△ 240,512	同窓会報発行賛助金
雑収入	22	46,015	45,993	寄付金、預金利息
計	4,350,726	4,146,207	△ 204,519	

支出の部

単位：円

科目	予算額	決算額	残額	説明
会議費	250,000	97,573	152,427	総会補助、役員会議費
運営費	300,000	193,295	106,705	事務費、通信費
活動費	600,000	420,020	179,980	支部活動費、旅費等
広報費	1,800,000	1,007,097	792,903	同窓会報発行代
予備費	1,400,726	0	1,400,726	
計	4,350,726	1,717,985	2,632,741	

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。

令和 3 年 9 月 4 日

監事

渡辺雅文 (印)

監事

地引敬次 (印)

【特別会計】

収入総額 2,107,555 円  
 支出総額 350 円  
 差引残額 2,107,205 円 (次年度へ繰越)

収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減額	説明
繰越金	1,797,141	1,797,141	0	前年度繰越金
繰入金	200,000	200,000	0	PTA会計、後援会会計より繰入
雑収入	50,009	110,414	60,405	預金利息、名簿販売、記念誌販売代金
計	2,047,150	2,107,555	60,405	

支出の部

単位：円

科目	予算額	決算額	残額	説明
繰出金	0	0	0	
予備費	2,047,150	350	2,046,800	名簿発送料金
計	2,047,150	350	2,046,800	

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。

令和 3 年 9 月 4 日

監事

渡辺雅文 (印)

監事

地引敬次 (印)

# 部活動状況

## 令和3年 第45回全国高等学校総合文化祭



### 美術・工芸部門

高橋 博貴 (3C)  
(国吉中出身)



## 令和3年度関東陸上競技選手権大会



### 男子5000m出場

中村 碧海 (3A)  
(岬中出身)



### 部・同好会

体育系	男	女	計
柔道	5	1	6
剣道	8	0	8
陸上競技	17	15	32
弓道	18	18	36
野球	18	4	22
ソフトテニス	8	8	16
バレーボール	20	14	34
バスケットボール	16	15	31
サッカー	19	2	21
卓球	9	4	13

文化系	男	女	計
生物	8	1	9
美術	3	13	16
書道	1	11	12
マンドリンギター	1	18	19
演劇	5	16	21
英語	2	10	12
吹奏楽	16	21	37
茶道	5	19	24
合計	179	190	369

# 令和2年度進路状況報告

進路指導主事 森 裕香

## 令和2年度を振り返る

卒業生総数136名と、例年に比べやや少ない学年であったが、進路決定状況としては、大学が全体の約58.8%、短大が約4.4%、専門学校が約22.1%、就職（含公務員）が約8.1%という割合となり、過去2年と比較すると、4年制大の割合が増え、専門学校および就職の割合が減少している。

大学に関しては、県内私立大学を志望する生徒が多く、私大進学者75名中53名（約70.6%）という数になった。全国的にも、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、首都圏への進学を回避する傾向がみられ、地元志向が強まったと言われている。国公立大学にも5名の生徒が合格を果たし、平成24年度（6名）以来の進学数となった。

就職に関しては、求人数の減少が心配されたが、本校については大きな影響はなく、就職試験の日程がひと月遅れになったものの、ほぼ例年どおりの体制がとれた。また、大多喜町役場にも本年度も採用していただけた。

新入試制度への切り替え初年度というタイミングに加え、新型コロナウイルス感染症拡大という予期せぬ状況の中、自宅学習期間を経て、各自が進路実現に向けてよく努力をし、多くが希望進路を実現させた。生徒自身の粘り強さ、保護者のご支援、学年・担任団のきめ細やかな指導の賜であるといえる。

## 昨年度の進路指導の概要

- (1) **進路説明会** 〈3年〉6月  
進学・公務員・民間就職希望に分かれ、留意点や心構え、今後の日程や諸手続等について説明。
- (2) **1年進路説明会** 7月  
デジタルツールの活用、模試の有効活用法等説明。
- (3) **夏期・冬期実力養成講座・進学課外授業** 〈全学年〉  
延べ約640名参加。
- (4) **2年進路説明会** 10月  
全生徒に対し、大学・短大、専門、公務員、民間就職についての基本的な流れ等について説明。
- (5) **保護者進路講演会** 11月  
倉部 史記氏「進路選択－保護者としてできること」
- (6) **2年分野別進路説明会** 11月  
分野別に外部講師より、2年生のうちから取り組むべきこと、心構えや学習法等について、具体的なアドバイス。
- (7) **1年職業別分科会** 12月  
職業に関する知識を深めるよう、10分野に分かれて外部講師から説明・アドバイス。
- (8) **公務員講座** 7月・12月  
希望者対象に、外部講師による説明および公務員試験対策問題演習。
- (9) **進路講演会** 〈1・2年〉1月  
石田 陽一郎氏「これからの社会を生き抜くために」

- (10) **進路報告会** 3月  
例年の対面方式から事前に録画した動画を1・2年生に視聴させる形式に変更して実施。

## 令和2年度卒業生主な進路先

### 〔4年制大学〕（国公立・私大50音順）

埼玉大・千葉大・鳥取大・千葉県立保健医療大  
植草学園大・学習院大・神奈川大・亀田医療大・神田外語大・関東学院大・敬愛大・工学院大・國學院大・国際医療福祉大・国際武道大・駒澤大・淑徳大・城西国際大・聖徳大・専修大・大東文化大・拓殖大・千葉工大・千葉商大・中央大・帝京平成大・東海大・東京工科大・東京情報大・東京都市大・東京理科大・東邦大・東洋大・新潟医療福祉大・日本大・武蔵大・明海大・立正大・了徳寺大・麗澤大・和洋女子大・情報経営イノベーション専門職大学

### 〔短期大学〕（50音順）

植草学園短期大・昭和学院短期大・創価女子短期大・千葉経済大短期大学部・千葉職業能力開発短期大学校

### 〔専門学校〕（順不同）

千葉県立鶴舞看護専門・君津中央病院附属専門・千葉青葉看護専門・千葉中央看護専門・北原学院千葉歯科衛生専門・千葉医療福祉専門・八千代リハビリテーション学院・東京IT会計法律専門・大原簿記公務員専門・神田外語学院・国際理工情報デザイン専門・日本デザイナー学院・東洋理容美容専門・服部栄養専門 他

### 〔公務員・民間就職〕

大多喜町役場・千葉県警察  
トヨタカローラ千葉株式会社・日本郵便株式会社 他

## ◇令和2年度卒業生進路状況

	大 学		短 大		専 門 学 校	就 職		浪 人 ・ 他	合 計
	国 公 立	私 立	国 公 立	私 立		民 間 ・ 自 営	公 務 員		
男	3	52	0	2	5	5	1	9	77
女	2	23	0	4	25	4	1	1	60
計	5	75	0	6	30	9	2	10	137

※進学かつ就職1名



# 事務局だよ!

## ●令和2年度年度末人事異動

### 《転出・御退職された先生方》

- 川崎 浩祐 (校長) H31 ~ 2年間  
ちば国際コンベンションビューロー
- 齋藤 啓一 (国語) H18 ~ 14年間  
長生高等学校 再任用
- 岩田 正之 (国語) H24 ~ 9年間  
大多喜高等学校 再任用
- 高師 幸子 (実習助手) H27 ~ 6年間  
大多喜高等学校 再任用
- 長谷川 清 (社会) R 2 ~ 1年間  
茂原樟陽高等学校 再任用
- 西山 博久 (社会) R 2 ~ 1年間  
九十九里高等学校 再任用
- 齋藤 朋泰 (社会) H28 ~ 5年間  
千葉市立千葉高等学校
- 齋藤 孝義 (数学) H31 ~ 2年間  
大網高等学校
- 小林 秀徳 (保健体育) H28 ~ 5年間  
行徳高等学校
- 米山 翔太 (書道) H30 ~ 3年間  
船橋芝山高等学校 (新採用)
- 戸倉 美和 (事務) H30 ~ 3年間  
茂原樟陽高等学校

### 《着任された先生方》

- 中間 芳秀 (校長) 木更津高等学校
- 清水 浩憲 (国語) 安房高等学校 再任用
- 松田 理 (社会) 大原高等学校 再任用
- 村田 文敏 (社会) 東金商業高等学校 再任用
- 渡邊 正之 (数学) 長狭高等学校 再任用
- 青野 雅弘 (数学) 新規採用
- 近藤江理子 (保健体育) 茂原樟陽高等学校
- 浦上 裕介 (書道) 新規採用 (臨時的任用講師)
- 丸 祐実 (事務) 君津青葉高等学校

## トピックス

### 令和3年度

- ・本校の「総合的な探究の時間」の取り組みやいすみ鉄道への支援活動が新聞などに取り上げられました。コンソーシアムの設立もありますし、今後も積極的に取り組んでいきます。
- ・大多喜高校同窓会のHPが出来ました。  
<https://dousoukai.site/otaki-h/>  
支部やOB会などの話題なども載せることが出来ればと思っています。ご覧になってください。

### ●異動連絡のお願い

住所等の異動の折には郵便はがきなどで同窓会事務局にご連絡ください。同窓会関係の郵便物が宛先不明で返送されますと会員名簿上での住所は空欄となります。同窓会事務局では少しでも正確な情報を把握しておきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

### ●原稿募集のお願い

同期会・クラス会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載しますので、ご連絡をお願い致します。また、同窓会報の『同窓生の声』に寄稿いただける方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局へご連絡ください。

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481 TEL 0470-82-2621  
千葉県立大多喜高等学校同窓会

### ●個人情報について

個人情報についてですが、同窓会員の情報は(株)サラトにて一括管理されています。これは、会報の発行や名簿作成のためです。それ以外の使用は一切行っておりませんのでご承知ください。

### ●役員名簿

会 長	猿田 寿男 (昭42高)	
副 会 長	福山 悦男 (昭29高)	
	近藤 万芳 (昭32高)	
	太田 洋 (昭41高)	
	加藤 茂範 (昭45高)	
	中村美智子 (昭49女)	
監 事 (会計監査)	地引 敬次 (昭41高)	
	菰田 稔 (昭45高)	
顧 問	齋藤 萬祐 (昭32高)	
	山口 登 (昭37高)	
支 部 長	大 多 喜	花崎 喜好 (昭47高)
	大 原	青柳 英俊 (昭38高)
	勝 浦	竹下 正男 (昭47高)
	茂 原	村杉 仁 (昭31高)
	千 葉 (千葉大高会)	福山 悦男 (昭29高)
	岬	橋本 正志 (昭44高)
	女 子 高	中村美智子 (昭49女)
	御 宿	渡邊 一義 (昭44高)

【支部長は各支部で選出いただいています。】

## 令和3年度 同窓会総会・懇親会のお知らせ

今年度は新型コロナウイルス感染症感染  
予防の観点から書面開催とさせていただ  
くことになりました。

お問い合わせは、下記までお願い致します。

TEL 0470-82-2621

(大多喜高校内・同窓会事務局)